

第9期「協同を学ぶ」インターンシップ  
つながりインターンシップ@協同  
実施報告書

主催：一般社団法人くらしサポート・ウイズ

協力：協同組合バンク運営協議会よいしごとステーション

## 貴重な体験を次につなげる役割を

### 第9期「協同を学ぶ」インターンシップを終えて



一般社団法人くらしサポート・ウィズ  
理事長 吉中 由紀

業務多忙な中、第9期「協同を学ぶ」インターンシップにご協力いただいた各協同組合と社会的企業の皆様にご挨拶申し上げます。2022年度は、新型コロナウイルス感染症による影響が続く中、17団体に参加いただき、12大学19名の学生が活動することが出来ました。

今年度はコロナ禍の中でも、体験実習をプログラムに組み込んだ団体も多く、その内容は学生チームと受け入れ団体との対話を通して決定されたということで、スタート時点から主体性を育む内容となりました。全体会もリアルでは報告会のみでしたが、オンラインでの打ち合わせ等を上手くこなして進められたと思います。

さて、学生チームメンバーは、就労を目的としないインターンシップという特徴ある取り組みに対し、テーマや調査項目を話し合い、協同で作業を進めました。体験を通して知識だけではない学びの機会となったのではないのでしょうか。新たに労働者協同組合法が施行された年という事も関係しているのか、協同組合の取り組みや魅力にとどまらず、課題やその解決について考え深めた報告もありました。

インターンシップ生は、協同組合や社会的企業の目指す姿を知り視野を広げ「仕事とは」「働くとは」について考え、つながり、助け合うことの重要性に気付くことが出来ました。今度は、この貴重な体験を次につなげる役割を担ってくれると期待しています。

インターンシップ修了おめでとうございます。

2022年12月31日





# 目 次



理事長あいさつ	1
目次	2
学生名簿	3
Special thanks !	4
つながりインターンシップ広報用チラシ	6
インターンシップ実習体験報告	7
	* 修了報告会発表パワーポイント資料
	* 受入団体プログラム
	* 学生感想文(HP用報告書には掲載していません)
	* 受入団体より学生チームへ贈る言葉
社会的企業グループ	8
農業協同組合グループ	18
生活クラブ生活協同組合グループ	29
パルシステム生活協同組合グループ	36
労働者協同組合グループ	41
協同金融グループ	48
企画参加学生の感想	54
集合写真と事務局まとめ	55

※いただいた原稿は、原則として編集していません。  
個人情報にかかる部分の掲載はしていません。

## つながりインターンシップ@協同とは

### 【目的】

- ・若者に協同組合や社会的企業のミッションや仕事、人との関わりを伝える
- ・その体験を通して若者に「仕事とくらしの関係」や「働くことの意味や本質的な価値」を考えてもらう
- ・受入団体や主催者も学生とのふれあいから、自らのミッションや仕事を振り返る
- ・一連の流れを通してインターンシップに参加する関係者全てで「協同」や「人とのつながり」について共に考える
- ・協同組合や社会的企業、教育機関連携で「協同の人材育成」につながる基盤形成をめざす

### 【特徴】

- ・受入れは異種/異分野の協同組合や社会的企業で、希望に添った団体で職場体験し、体験を学生同士で共有し学びを深める場がある
- ・インターカレッジでの交流を通して、さまざまな考えを知り学生自身の世界が広がる
- ・社会人との交流を通して、「働くこと」や「仕事」の自分のイメージが具体的になる
- ・フラットな関係を大事にしたプログラムで学生が主体的に伸び伸びと学べる
- ・学生個人の特長や良さをインターンシップ修了の贈り物として伝える

【学生名簿】

社会的企業チーム	
立教大学院コミュニティ福祉学研究科	前期課程 1 年
立教大学コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科	3 年生
桜美林大学リベラルアーツ学群社会領域	2 年生
目白大学社会学部社会情報学科	1 年生
農業協同組合チーム	
日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科	3 年生
日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科	3 年生
生活クラブ生活協同組合チーム	
明治大学政治経済学部政治学科	4 年生
立教大学経済学部経済学科	3 年生
日本社会事業大学社会福祉学部福祉援助学科	2 年生
パルシステム生活協同組合チーム	
日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科	3 年生
千葉大学教育学部小学校コース	2 年生
東京家政大学栄養学部管理栄養学科	1 年生
労働者協同組合チーム	
目白大学社会学部社会情報学科	3 年生
目白大学社会学部社会情報学科	3 年生
立教大学コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科	3 年生
東京大学文科一類	2 年生
協同金融チーム	
駒澤大学経済学部経済学科	3 年生
東海大学健康学部健康マネジメント学科	3 年生
産業能率大学経営学部マーケティング学科	3 年生

【学生の社会問題に対する意識】

1	貧困問題（住居喪失不安定就労者／ネットカフェ）
2	ニート・SNEP の増加（社会的負荷の増大・不安定化／つながりの欠如）
3	若者の生き難さ（多様な生き方を認められる社会に）
4	人間らしい働き方（民主主義と主体的参加／協同組合の課題）
5	中小企業（継業／IT 化／ジェンダー平等／地域経済の活性化と協同金融）
6	中小企業の継業（多くの知識や技術をもった優良中小企業の廃業／雇用）
7	人口減少（これまでと異なる日本社会のあり方／地域のあり方）
8	教育問題（教員の不足／子どもの教育を受ける権利の平等性確保）
9	食料自給率（他国との食料自給率や農生産物輸入額との比較と日本の状況）
10	ファストファッション（雇用／廃棄／コストの考え方／消費者との協働）
11	地域における高齢者の食支援（食支援の必要性／食支援を通じた地域づくり）
12	貧困問題（子どもの貧困／ひとり親／社会的損失）
13	教育の機会格差（教育サービスの市場化）
14	日本の貧困問題（日本人の平均的思考と可能な生活水準の齟齬）
15	ジェンダー（日本のジェンダーギャップ指数／労働環境）
16	フードロス（日本の食量自給率 37%／輸入食材と食料廃棄）
17	持続可能な社会の実現（利益を追い求めるだけでは改善できない問題の多さ）
18	食料自給率（農家の担い手不足の解消）
19	貧困（食事の貧困と子どもの成長と健康との関係／孤食）

# Special thanks



## 【受入団体】

1	一般社団法人全国労働金庫協会	井吉 仙征	人事総務部副部長
		小林 ちとせ	人事総務部次長
		山口 祐美	調査役
2	城南信用金庫	脇谷 悠太	人事部
3	さがみ農業協同組合	大澤 健司	総合企画室室長
		佐藤 由美	総合企画室地域ふれあい課課長
		福田 佳奈	総合企画室地域ふれあい課
		西部 敬	総合企画室地域ふれあい課
4	JA 神奈川県中央会	岩堀 義一	総務企画部部長
		杉本 直子	総務企画部
5	生活クラブ生活協同組合・東京	上田 二士夫	総務部部長
		伊達 亮太郎	総務部人事教育課課長
6	生活クラブ生活協同組合・神奈川	一政 伸子	総務部人事教育課
7	パルシステム生活協同組合連合会	柴崎 知子	人事部人事1課
		若林 祐貴	人事部人事1課
	生活協同組合パルシステム東京	平澤 一樹	人事部人事・育成課長
		庄司 万里恵	人事部人事・育成課
		吉沼 文弥	人事部人事・育成課
	生活協同組合パルシステム埼玉	渡部 慎太郎	人事課課長
	生活協同組合パルシステム神奈川	金子 萌菜	人事部採用育成課
	生活協同組合パルシステム千葉	藤井 貴子	管理本部人事教育部主任
柏原 勇太		管理本部人事教育部スタッフ	
8	日本労働者協同組合（ワーカーズコープ） 連合会	浦上 航	未来人財部主任
		大菊 友梨子	未来人財部スタッフ
9	ワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパン	藤井 恵里	代表
	企業組合ワーカーズ・コレクティブ轍ケイアッシュ	田上 悠紀人	代表理事
10	社会福祉法人ふきのとうの会 一般社団法人全国食支援活動協力会	平野 覚治	理事長
		井藤 ゆり	事務局
		山森 奈於	事務局
11	特定非営利活動法人ユースコミュニティー	濱住 邦彦	代表理事
		山田 瑠璃香	職員
12	特定非営利活動法人 APLA	野川 未央	事務局長
		福島 智子	ぽこぽこバナナプロジェクト担当



### 【大学関係および協力者】

伊丹 謙太郎	法政大学大学院連帯社会インスティテュート	教授
大高 研道	明治大学政治経済学部経済学科	教授
石澤 香哉子	一般社団法人地域開発研究所／立教大学等	研究員／兼任講師
久保 ゆりえ	明治大学商学部商学科	助教
小関 隆志	明治大学経営学部公共経営学科	教授
菰田 レエ也	鳥取大学地域学部地域学科	講師
清水 みゆき	日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科	教授
竹内 友章	東海大学健康学部健康マネジメント学科	助教
近本 聡子	愛知学泉大学家政学部ライフスタイル学科	教授
津富 宏	静岡県立大学国際関係学部国際関係学科	教授
中島 智人	産業能率大学経営学部経営学科	教授
西城戸 誠	早稲田大学文学学術院文化構想学部	教授
原田 晃樹	立教大学コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科	教授
廣重 剛史	目白大学社会学部社会情報学科	准教授
福本 麻紀	フクモト社会福祉士事務所／日本社会事業大学等	社会福祉士／兼任講師
藤井 敦史	立教大学コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科	教授
松本 典子	駒澤大学経済学部公共経済学科	教授
三浦 一浩	公益財団法人生協総合研究所／日本大学等	研究員／兼任講師
松尾 賢	一般社団法人日本協同組合連携機構	協同組合連携部連携部 連携推進マネージャー
柳澤 敏勝	明治大学商学部商学科・国際労働研究所	名誉教授・客員研究員
李 妍焱	駒澤大学文学部社会学科	教授
東京家政大学	学生支援センターキャリア支援課インターンシップ担当	
立教大学	コミュニティ福祉学部キャリア支援室インターンシップ担当	



### 【企画運営学生】

駒澤大学文学部社会学科	3年生	2020年度インターン生
中央大学経済学部経済学科	4年生	2020年度インターン生
立教大学文学部文学科フランス文学専修	2年生	2021年度インターン生
産業能率大学経営学部経営学科	3年生	2022年度インターン生

※インターンシップ紹介動画（くらしサポートウィズ HP より） <https://kurashidial.or.jp/youth/>

心から感謝申し上げます



# つながりインターンシップ@協同

## 2022年度 プログラム案内

社会問題から「働く」に迫る！

### 「働く」って、どういうこと？

～インターンシップを通して、考えてみませんか？

自分らしく生きるために

私らしく「働ける場所」

「しごと」ってどんなこと??



くらしに必要な仕事  
地域貢献や社会貢献。  
そんな社会的事業団体を  
知って見て、体験交流する！



### 受入団体グループ (編成の変更あり)

社会的企業グループ	ふきのとうの会 特別非営利活動法人ユースコミュニティー 特定非営利活動法人APLA
協同金融グループ	城南信用金庫 一般社団法人全国労働金庫協会 (労働金庫)
生活協同組合①グループ	生活クラブ生活協同組合・東京 生活クラブ生活協同組合・神奈川
生活協同組合②グループ	パルシステム生活協同組合グループ (東京・神奈川・埼玉・千葉・連合会の合同)
農業協同組合グループ	さがみ農業協同組合 JA神奈川グループ JA神奈川県中央会
労働者協同組合グループ	日本労働者協同組合 (ワーカーズコープ) 連合会 ワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパン 企業組合ワーカーズ・コレクティブ 職ケアッシュ

### つながりインターンシップ 参加のながれ

大学への説明会等実施  
インターンシップの応募期間  
5/9～6/3  
※応募書式はウイズ HP に掲示

5/21 社会的事業の  
しごと説明会に参加  
(よいしごとステーション)

応募書類、事務局より受理  
確認メール/体験希望先を  
第三希望まで事務局へ提出

キックオフイベント  
学生チームおよび団  
体グループと顔合わ  
せ/意見交換

調査と  
体験実  
習へ

### 【スケジュールと概要】

行事	日程案	実施内容
募集 インターンシップ 募集・応募期間	5/9～6/3 二次募集締め切 り 6/20	応募用紙を記入しインターンシ ップ事務局へメールで提出 <a href="mailto:internship@kurashidial.or.jp">internship@kurashidial.or.jp</a>
事前準備	社会的事業の しごと説明会※ (WEB)	5/21(土) 13:00～15:00 ※インターンシ ップの説明 15:00～15:30 社会的ミッションの事業を進めて いる受入団体と直接、自由に話 し合える！ ※インターンシップはチームで。 学生の希望も含めてマッチング。
	キックオフイベント (WEB)	7/2(土) 13:30～16:30 (予定) インカレの学生チームの交流、 団体グループとの顔合わせと意 見交換。団体と学生でプログラ ムについて意見交換。
	事前レクチャー (WEB)	7/30(土) 13:00～16:00 事前準備、法人格の基礎知識、 大学生向け消費者教育、プレ社 会人のマナー等をレクチャー
実習期間	インターンシップ期間	原則夏季休暇 8月～9月 キックオフイベント時の話し合い がプログラムに反映。プログラム は受入グループで異なる。
	交流会 (会場: 労協連合会本部 池袋)	8/27(土) 13:00～16:30 (予定) 各チームの体験を共有し仲間づ くりへつなげる。昨年は先輩たち が企画。社会人から話を聴き、 学生同士でいろいろ話し合った。 今年はどんな企画にする？
	修了報告会 & 大交流 会(会場: 労協連合会本 部 池袋)	10/22(土) 午後 インターンシップの体験、学び、 気づきを学生、団体、大学等関 係者全員で共有し、交流も！
	実施報告書(WEB)発行	12月中 ホームページに抜粋をアップ。
修了後	アフターフォロー※	随時 受入団体からの就職説明会、見 学プログラム、イベント案内、ボ ランティア募集情報を提供。

### 【プログラムの目的と特徴】

- ①社会的事業のさまざまな仕事、職場を知ることができる！  
・自分の感じている社会問題からインターンシップに迫ります。  
・プログラムのテーマは学生チームと団体グループで話し決定します。
- ②「自分は何のために働くのか」を考える機会に！  
・それぞれの発見や気づきを大切に事前レクチャーや体験を共有するた  
めの交流会で学びを深めます。
- ③仲間を作ろう！  
・インターカレッジで同じような問題意識を持つ学生でチームを編成する他、学  
生同士で情報交換・交流、仕上げに修了報告会があります。
- ④多くの社会人と出会う機会がある！  
・受入団体も学生と交流することを楽しみにしています！関係はフラットに、就  
活では聞けない本音を聞ける機会がたくさんあります
- ⑤気づきや感動を可視化して共有、自分の可能性が広がる！  
・人とのつながりや信頼を学ぶことは自身の可能性を広げます。学びの仕上げ  
で学生チームへ「ここが素敵！“贈る言葉”」を伝えます。

本インターンシップは「くらしサポート・ウイズ」が運営する「くらしの相談」に  
寄せられた生きづらさを抱えた若者の声から生まれました。

「くらしサポート・ウイズ」は相談事業から表出する社会問題を「協同の力」で  
解決するために様々な取り組みをしています。そんな中で、「よいしごと」とは  
何かを追求している「よいしごとステーション」と出会いました。「学び」から「働  
くこと」まで一連の流れの中で、人間らしいあり方、生きがい、しごとが本来持  
っている「働く喜び」等を社会的事業団体と共に、これから生きる若者へ伝え  
たいと考え企画しています。

### 【つながりインターンシップ@協同 主催】

一般社団法人くらしサポート・ウイズ  
〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-3-4 出光新宿ビル 4F  
TEL:03-6205-6719 FAX:03-3200-6134  
e-mail: [internship@kurashidial.or.jp](mailto:internship@kurashidial.or.jp)

### ※【社会的事業のしごと説明会およびアフターフォロー 主催】

協同組合バンク運営協議会よいしごとステーション  
〒169-0072 東京都新宿区西早稲田 2-4-7 東京 DEW  
TEL:03-5937-4501 FAX:03-6380-3465  
e-mail: [goodjob@roukyou.gr.jp](mailto:goodjob@roukyou.gr.jp)

### つながりインターンシップ@協同 応募概要

【募集定員】 二次募集 10名(学年・専攻は問いません)

【応募方法】 募集要項を確認の上、応募用紙を提出

【応募締切】 2022年6月20日(月)



## インターンシップ実習体験報告

- \* 修了報告会発表パワーポイント資料
- \* 受入団体プログラム
- \* 学生感想文
- \* 受入団体より学生チームへ贈る言葉



# 2022年度 「協同」を学ぶインターンシップ 社会的企業系グループ

2022/10/22

つなかりインターンシップ終了報告会

1

## インターンシップ先団体・学生

- NPO法人APLA  
目白大学 社会学部社会情報学科 1年  
桜美林大学 リベラルアーツ学群社会領域 文化人類学専攻 2年
- NPO法人ユースコミュニティ  
立教大学 コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科 3年
- 老人給食協力会 ふきのとう／一般社団法人 全国食支援活動協力会  
目白大学 社会学部社会情報学科 1年  
立教大学大学院 コミュニティ福祉学研究科 修士課程 1年

2022/10/22

つなかりインターンシップ終了報告会

2

## ぽこぽこバナナプロジェクト 特定非営利活動法人APLA

2022/10/22

つなかりインターンシップ終了報告会

3

## 団体活動内容



- ▶ フィリピン、東ティモール、インドネシアで「農」を  
主軸とした支援
- ▶ 原発事故後の福島で農に関わる地域再生を支援
- ▶ 上記地域での災害時に緊急支援
- ▶ 放射能汚染の少ない食べ物(フィリピン産無農薬バナナ)を  
福島の子供達に提供
- ▶ ぽこぽこバナナプロジェクト

4



## ぼこぼこバナナプロジェクト

規格外パラゴンバナナの活用で、フードロスを削減する参加型プロジェクト

### プロジェクト事例

- ・子どもバナナプロジェクト
- ・バナナカレーの開発
- ・プロジェクトに関するイベントの開催
- ・バナナスムージーの販売

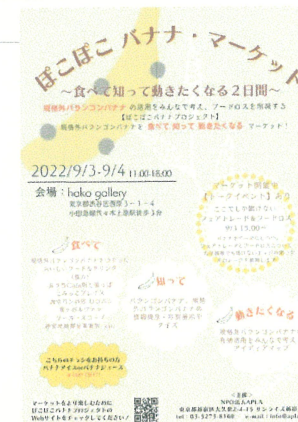
## インターンシップ参加概要

### 日程

9/3(土)	ぼこぼこバナナマーケット
9/4(日)	ぼこぼこバナナマーケット

### 内容

- ・フライヤー作成
- ・販売スタッフ



## 誰と、どのような繋がり・協同を大切に活動を行なっているか

- アジア地域や日本国内の活動地で「農」に関わる人や団体と、国境を超えた出会いや交流を大切に
- 大人(企業)と子どもの双方と、誰でも参加できることを大切に、フードロス削減に働きかけている。

## 謝辞

活動に参加ささげていただいた、  
特定非営利活動法人APLAの皆さま  
福島様、野川様に感謝申し上げます。



ご静聴ありがとうございました

NPO法人ユースコミュニティー

## 団体概要

## インターン参加概要



- ▶ 東京都大田区において教育格差の解決に取り組む
- ▶ 事業は、居場所づくり・学習支援、課外プログラム、ソーシャルワークを展開
- ▶ 学習支援は中学生、高校生、既卒生を対象に11クラス展開
- ▶ 全教室における生徒数は200名を超える
- ▶ ボランティアの居場所にもなりつつある

### 日程

### 内容

8月19日	夏休み限定ボランティア説明会参加
8月21日	学習サポーターボランティア説明会参加
8月28日	蒲田教室見学
9月4日	活動者会議参加
10月10日	コミュニティ診断の結果共有、ワークショップ参加

## 誰と、どのようなつながり・協同を大切に活動を行っているか

### ▶子どもも大人も一緒に勉強するコミュニティ

ユースコミュニティは学習支援において「昭和の塾」を掲げている。実際に子どもとボランティアの関係性が生徒と教師だけでないように見えた。さらに、ボランティア同士の居場所にもなっていると考察する。

### ▶コミュニティ診断の結果から

回答数が多いにも関わらず、平均値並みの偏差値であった。ボランティアや職員に関わらず、自己有用感や居心地の良さを実感している

13

## 謝辞

お世話になりました

特定非営利活動法人ユースコミュニティの皆様、  
濱住様に感謝申し上げます。

2022/10/22

つながりインターンシップ終了報告会

14

## 老人給食協力会 ふきのとう

## 一般社団法人 全国食支援活動協力会

## 団体について

- 老人給食協力会 ふきのとう
  - ・理念:「地域はひとつの家族」
  - ・会食会や配食サービスなど、生活支援サービスをボランティア活動として展開
- 社会福祉法人 ふきのとうの会
  - ・デイサービスなど、介護保険事業を実施
- 一般社団法人 全国食支援活動協力会
  - ・理念:「食を通じた地域の支え合いを広げよう」
  - ・全国の食支援活動団体とのネットワークの形成
  - ・食事サービスの最新動向の発信や運営サポート

2022/10/22

つながりインターンシップ終了報告会

15

2022/10/22

つながりインターンシップ終了報告会

16

## インターンシップ参加日程

### ●老人給食協力会 ふきのとう

8/24(水)	配食ボランティア体験
9/2(金)	会食会体験

### ●一般社団法人 全国食支援活動協力会

7/24(日)	「食でつながるフェスタ東京2022」
8/19(金)	「広がれ、こども食堂の輪!推進会議」
9/8(木)~9/10(金)	「食でつながるフェスタin香川」

## 誰と、どのようなつながり・協同を大切に活動を行っているか

### ●老人給食協力会 ふきのとう

地域住民が、「顔が見える」つながりのもと、「助け合える」地域づくりをともにつくることを大切に活動を行っている

### ●一般社団法人 全国食支援活動協力会

全国各地の食支援活動を行う市民活動団体・行政・企業と、地域や分野を超えてつながり、協同して、「食を通じて誰もが暮らしやすい地域づくり」を全国に広げていくことを大切に活動を行っている

## まとめ

「老人給食協力会 ふきのとう」と「一般社団法人 全国食支援活動協力会」は活動範囲は異なるが、どちらも人とのつながりを大切に活動をしている点や、より良い地域づくりを目指している点は共通していると考えられる



「つながり」の重要性

地域のために、地域で暮らす一人一人のために働くことの意義

## 謝辞

お世話になりました

老人給食協力会 ふきのとうの皆様  
一般社団法人 全国食支援活動協力会の皆様

平野様・井藤様に感謝申し上げます

ご清聴ありがとうございました

---



**ぽこぽこバナナプロジェクト**

流通の過程でどうしても廃棄されてしまう  
 バランゴンバナナ の有効活用を検討・試行  
 具体化するための新たなプロジェクト

\*インターンシップでは広報を担当\*



月日	時間	活動内容	インターン生の実習報告から
8/8	10時 ～13時	ぽこぽこバナナマーケット準備 APLAの事務所へ訪問	早稲田大学のインターンの方と準備を進め広報を担当。よくSNSで見えるものを考えている人のすごさを体感し、自分の中のアイデアが誰かの真似でしかないと気付く
8/22	10時 ～13時	ぽこぽこバナナマーケット準備 APLAの事務所へ訪問	もう1人のインターン生の方と初対面。1年でできることの差が大きかった。ただ1回目に事務所へ行った時より自分の考えを出せた
9/3	9時半 ～18時	ぽこぽこバナナマーケット運営	規格外バナナの説明を早稲田のインターン生に任せてしまった。レジとか販売物のおすすめはできた。NPOの方とお話する機会があって色々な事をお聞きできた
9/4	10時半 ～18時	ぽこぽこバナナマーケット運営	早稲田の方の説明を見様見真似で説明できた。たまたま訪れてくれたNPOの方とAPLAの方とのつながりができて、こうやってつながりができるのかと肌で感じた

**安全・安心な  
バナナ**



バランゴンバナナは、化学合成農薬や、化学肥料に頼らずに栽培されています。つまり、フィリピンの産地にとっては、自然環境に負担をかけないバナナであり、日本にいる私たちにとっては、安心して食べることのできるバナナです。収穫後も安全性に配慮し、防カビ剤や防腐剤は使用せずに出荷しています。



**作る人と食べる人が  
つながったバナナ**



バランゴンバナナは、「民衆交易」のバナナです。「作る人=フィリピンの農家さんたち」と「食べる人=日本の消費者たち」が直接交流し、信頼関係を築いてきました。このバナナを食べることが、農家さんの持続的な生産と自立につながっています。



バランゴンバナナは、砂糖価格の国際的暴落で飢饉にあえいだ砂糖プランテーションの農民を助けるためのネグロス・キャンペーンから1989年に生まれました。生協と自然食品店が出資して会社(株式会社オルター・トレード・ジャパン)を立ち上げ、民衆同士の助け合い「民衆交易」で育てられてきたバナナです。生協では、グリーンコープ(九州中心)、生活クラブ生協、パルスシステム生協等が産直取引・交流をしています。

# COOPインターンシップ プログラム

## 町会と連携した子どもの学び支援「夏休み宿題お助け塾」

主催者:町会

協力:ユースコミュニティー

参加予定者:町会の子ども最大20人(小学生中心)および町会関係者(受付、施設管理)

支援予定者:ユースコミュニティーのボランティア1回概ね7人程度

活動内容:子ども達の夏休みの宿題サポート、カードゲーム、交流イベント

日時:8/25~27 午前中

スケジュール:9:30受付、10:00~11:30学習、11:30~12:00屋内遊び、12:00子ども食堂の昼食もしくはお弁当の提供 12:30解散

### ①「夏休み宿題お助け塾」のボランティア希望者への説明会・研修会(2時間程度、ワークショップあり)に参加

⇒(目的)団体の全体像から今回の活動の趣旨。具体的な現場での支援についての研修。

8/21(日)14:00~16:30 担当:山田・濱住

### ②8月25~27の3日間に開催予定の「夏休み宿題お助け塾」への活動参加

【活動に参加するとともに、他のボランティアや子どもの保護者、さらに町会役員のインタビュー】

⇒(目的)活動に参加し、支援を実体験。さらに町会の関係者から地域貢献と協働の意義について詳しくヒアリング

8月25日(木) 9:30~12:30 担当:ユースコミュニティー役員&職員

8月26日(金) 9:30~12:30

8月27日(土) 9:30~12:30

開催場所 白山神社 東京都大田区東嶺町31番17号 池上線「久が原駅」徒歩2分

## 【ふきのとうの会／全国食支援活動協力会 インターンシップ内容】

- =====  
・7月24日（日） 「食でつながるフェスタ東京2022」  
・8月19日（金） 「広がれ、こども食堂の輪！推進会議」  
・8月24日（水） 配食ボランティア体験  
・9月 ☆要調整 会食会体験  
=====

### ◎「食でつながるフェスタ東京2022」

日時：7月24日（日）11:00~16:00（10:30~入場可能）

場所：飯田橋セントラルプラザ（東京都新宿区神楽河岸1-1 JR・地下鉄飯田橋駅直通）

プログラム：基調報告、講義、リレートーク、交流会 等

☆当日は配食サービスやこども食堂に取り組まれる方の他、企業様、社協様等も参加予定です。

### ◎「広がれ、こども食堂の輪！推進会議」

日時：8月19日（金）14時~16時

場所：飯田橋レインボービルB会議室

（JR 飯田橋駅西口 下車5分 地下鉄 有楽町線・東西線・南北線 飯田橋駅神楽坂 B3 出口 下車5分）

☆子どもの居場所づくり支援に関わる方々が集まられます。

### ◎配食ボランティア体験

日時：8月24日（水）8時30分~17時（調理8:30~11:00、配達15:00~17:00）

場所：「食事サービスサポートセンターだんらん」

世田谷区鎌田3-13-1（第2調理室）

二子玉川駅から成城学園前駅行きバス→「砧南中学校」下車徒歩1分

持ち物：エプロン、三角巾、昼食代400円

服装：マニキュア×、火や刃物を使うので、露出の多い服装は避けてください

☆実施にあたり細菌検査が必要になります。ふきのとうで利用しているものをお渡しいたします。結果が出るのに1週間くらいかかります。8月入ってすぐに実施いただければ幸いです。

### ◎会食会への参加

日時・場所：9月以降で予定。また詳細決まり次第連携いたします。

# 学生チームへの贈る言葉



## 社会的企業グループ:チームの皆さんへ

### 特定非営利活動法人 APLA

今回の活動では、主に規格外バナナを活用するプロジェクトのイベントでご協力いただきました。まずイベント開催まであまり時間がなかったこと、そして活動内容もこちらから提示してしまったことで、参加してくださったお二人がやりにくかったかもしれません。そんな中でも、意見を出していただき、広報の面で主に活躍してくださいました。またイベント当日もほかのインターンの学生と協力して、テキパキと主体的に行動し、イベントの運営をスムーズに進めることができました。展示の仕方や商品の配置、お客さんへの接し方など様々な面で積極的にアイデアを出し、イベントを盛り上げてくれました。本当にありがとうございました。ここでの経験が今後の学生生活に少しでも役に立つとうれしいです。また機会があったら、ぜひご協力ください。

事務局長 野川 未央

ぽこぽこバナナプロジェクト 福島 智子

以下 スタッフ一同

### 特定非営利活動法人ユースコミュニティー

約2か月間にわたるインターンシップへの参加大変お疲れ様でした。一生懸命な熱意に押される形で、私自身非常に有意義な時間を過ごせました。またフレッシュな目線で参加していただいたことで、あらためて団体の理念やこれまでの活動を振り返るよい契機になったと思っております。今回のインターンシップで経験したことが、高木さんの今後の糧になれば幸いです。ありがとうございました。

代表理事 濱住 邦彦

### 社会福祉法人ふきのとうの会/全国食支援活動協力会

この度はインターンシップへのご参加ありがとうございました。対面でのプログラムで緊張するところもあったかと思いますが、お二人とも積極的に・関心を持って臨んでいただけたことを大変嬉しく思っております。お近くにいらっしゃった際にはぜひお立ち寄りください。これからの皆さんの活躍を楽しみにしております。ありがとうございました。

事務局 井藤 ゆり

大変おつかれさまでございました。実りのあるインターンシップになりましたことを願っています。毎度熱心に当会含む関連団体についてご質問を頂き、私自身もその熱意に負けず恥ずかしくないよう日々の業務に取り組もう、とより一層気を引き締める機会となりました。その熱意のまま興味・関心ごとを掘り下げて頂き、ご納得された上でキャリアの第一歩を歩まれることを祈っています。

事務局 山森 奈於





# 農業協同組合系チーム

日本大学 生物資源科学部3年

月日	時間	内容
8/30	9:30~16:30	自己紹介、綾瀬支店の店舗見学、農家大石さんとの対談、圃場で農業体験、綾瀬営農経済センター・グリーンセンターの見学
9/1	13:00~16:00	金融事業・共済事業の紹介、金融事業についてのロールプレイング、体験についての振り返り
9/2	13:00~16:00	前日の振り返り、JAと地域とのつながり活動紹介 自分たちでイベントの企画・発表、人事担当との質疑応答、インターンシップ全体の感想と振り返り、提出物の確認
9/20まで		POP作成

## 1日目

- ・協同組合の仕組みと役割の説明
- ・綾瀬支店の店舗見学
- ・若年層農家(大石さん)と座談
- ・圃場で農作業実習
- ・綾瀬営農経済センター・グリーンセンター綾瀬の説明、見学



## 若年層農家(大石さん)と座談

大石 博(おおいし ひろし)さん

- ・1982年7月13日生まれ(40歳)
- ・東京都町田市出身
- ・前職はイタリアンレストラン店長
- ・2年半、農業生産法人で研修
- ・現在神奈川県綾瀬市で農業を経営



### Q1 農業を始めようと思ったきっかけは？

おいしい野菜をお客さんに届けたい

## 大石さんに聞いた5の質問

### Q2 就農した中で苦労したこと、ギャップは？

・自分が作った分のすべてが商品として出せるわけではない。

→・収入が安定しない。

・毎年同じようにいくわけではない。

・地元の人になかなか受け入れてもらえなかった。

→・無視されてもとりあえずあいさつ

・自分の畑はきれいに。

・畑にとにかくいる(何もなくても)。

・お礼を言う(何事もしていただいているという気で)。

・近場の飲食店のホールでバイト

#### Q4 今後の目標は？

「新規就農者を増やしたい」

→・地域の人と関われるようにイベント

(・地域で新規就農者を紹介する場を作る

・器具を貸したり、販売場所を確保する)

#### Q3 就農して良かったことは？

自分が丹精込めて作ったものを「おいしい」と言ってくれること

→自分に対してすべて責任がくること、それがやりがい

#### Q5 普段感じる関わり・つながりは？

農業に関する相談はもちろんだが他にも相続や利益、保険などの相談にのってもらう。



## 圃場で農業体験



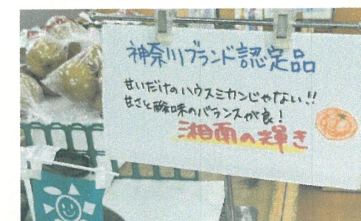
## 綾瀬営農経済センター・グリーンセンター見学



## 綾瀬営農経済センター



## グリーンセンター





規格外のモノを活用！！



## 2日目

- ・1日目の感想と振り返り
- ・金融・共済事業の紹介
- ・ロールプレイング



JAとは

Japan (日本の) Agricultural (農業) co-operatives (協同組合)

JAさがみ

(株)さがみ農業協同組合



協同組合



## JAさがみの事業・業務内容

- 組織・相談事業
- 経済事業
- 信用事業
- 共済事業

金融系 約60%

経済系 約14%

## ロールプレイング



## 3日目

- ・2日目の感想と振り返り
- ・JAと地域とのつながり活動紹介
- ・イベントや活動の企画→発表
- ・人事担当 岩崎様との質疑応答
- ・インターンシップでの感想と振り返り





## “つながり活動”の実施にあたり重要な7つの目的

- ①地域貢献「地域や社会の役に立つ」
- ②准組合員対策「今よりJAを好きになる」
- ③生産者応援・農業理解「農業と生産者を知ってもらう」
- ④組合員と職員の交流「組合員とつながる」
- ⑤正・准組合員の交流「組合員をつなげる」
- ⑥JA・協同組合理解「協同の仲間を増やす」
- ⑦組合員の生活向上「暮らしを豊かにする」

## ☆農家が伝えるおいしいヒ・ミ・ツ☆ ～目新しいものを身近なものに～

いつ:夏休みまたは冬休み

どこで:生産者圃場

誰に:准組合員の親子(小学生限定)

何を:夏→トルコナス 冬→ロマネスコ

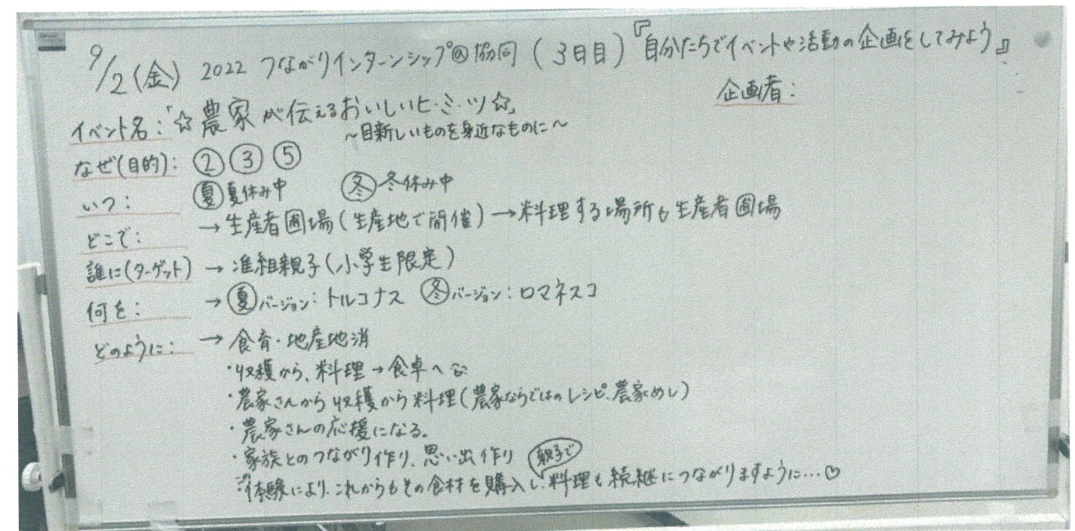
どのように:食育・地産地消、農家さんの応援、家族との思い出作り

収穫体験・料理(農家めし)



## 事例

- ①相模川美化キャンペーンの参加
- ②寄せ植え体験&トマト選果場見学
- ③JAスマホ10室






# POPの作成


**10月**  
October

**旬の野菜**

【ユリ根】  
ユリ科の植物の球根  
・カリウム、食物繊維、葉酸が  
たくさん含まれてるんだ！  
・茶碗蒸しや鍋にオススメ♪



さっちゃん



秋の味賞

**柿**



柿は「渋柿」と「甘柿」  
に大きく分けられます。  
10月には太秋（たい  
しゅう）というサクサク  
した食感が特徴の甘柿が  
出回ります。



参考:おいしい産産

## インターンを通して

JAと地域の方々や、正組合員と準組合員  
の間に強い「つながり」を感じたイン  
ターンだった。

普段関わることのできない、若年層の  
農家さんと接する機会をくれたり、JAの仕  
事を詳しく⑩えてくれたりしたJAの方々  
には感謝しかない。

対面だったこともあり、農業実習や  
ロールプレイングを体験でき貴重な経  
験となりました。JAや協同組合の理解  
が深まったとともに、不安に感じていた  
就職活動にも前向きに取り組もうと思  
えるきっかけにもなりました。

ご清聴ありがとうございました



さがみ農業協同組合2022年度 つながりインターンシップ@協同スケジュール

1日目 8月30日(火) ※雨天の場合8月31日(水)	
場所	綾瀬支店会議室・生産者圃場
10:00～ (10分)	開会
10:10～ 11:30 (80分)	自己紹介
	座学 (JA・協同組合について)
	オリエンテーション
13:00～ 15:30 (150分)	就農者との自己紹介
	就農者による農業体験
	フリートーク
15:30～ (30分)	次回の説明
16:00	閉会

2日目 9月1日(木)	
場所	本店：第2会議室
13:00～ (10分)	開会
13:10～ (80分)	金融事業・共済事業紹介
	ロールプレイング
14:30～ (60分)	体験についての感想・意見
15:30～ (30分)	次回の説明
16:00	閉会

※内容は変更となる場合がございます  
※休憩時間は適時設けます

3日目 9月2日(金)	
場所	本店：第2会議室
13:00～ (10分)	開会
13:10～ (20分)	GWについて説明
13:30～ (90分)	GW
15:00～ (30分)	GW発表
15:30～ (30分)	フリートーク
16:00	閉会

※GW=グループワーク  
※時間配分は目安です



# 学生チームへの贈る言葉



## 農業協同組合グループ:チームの皆さんへ

### さがみ農業協同組合

この度は、3日間のインターンシップ、本当にお疲れ様でした。

3日間の対面でのプログラムをすすめていただいたなか、一つひとつのスケジュールに対し真剣に取り組み、質問・意見・行動をされていた積極性は、今後もお2人の強みとして活かしていけると感じました。自己紹介では、「自分を野菜に例えると？」の項目で「レタス（色々やりたがり、広がっているから）」とありましたが、その例えのとおり、どのプログラムにも興味深く取組まれていた姿がとても印象的でした。窓口対応のロールプレイングの際、自然な笑顔でスムーズに取り組めており、またJA事業の一つである金融について興味を持たれたとのことで、新しい可能性につながったことと思います。今後も「オクラ」のようにネバネバ→粘り強く進んでいってください。

社会に出て仕事をするうえでは、年齢や立場などが異なる人、さらには自分とは考えが異なる人が必ず出てきますので、良いこと、嫌なこともあります。しかしそのなかでも、今回のインターンシップでお2人が得て、感じた「つながり」を是非意識して活躍していただければ幸いです。

JAさがみで経験された3日間は未来に繋がりますようお祈りしております。

総合企画室	大澤 健司
総合企画室地域ふれあい課	佐藤 由美
総合企画室地域ふれあい課	福田 佳奈
総合企画室地域ふれあい課	西部 敬

### JA神奈川県中央会

農協系チームの皆様、2022 つながりインターンシップ@協同に参加いただき、その中でも「農協系」を学びの場を選んでいただいたことに改めてお礼申し上げます。

神奈川県には12、全国には500を超えるJAがそれぞれ地域に根ざした事業・活動を展開していますが、その代表的・先進的なJAであるJAさがみの現場を直に体験されたことは、皆様にとって大変濃密で有益な時間であったのではないかと思います。

今回のインターンシップでの経験は、これから先、皆様がJAに限らず協同組合や非営利団体について学びを深めたり、職員として働いたり、事業を利用したり、運営に関わったりするうえでの考え方の基本となり、さらには協同の意味を他の人にも広めていく原動力になるのではないのでしょうか。

修了報告会の発表では、なぜ組合員とのつながりを深めることが大切なのか、協同組合で働くうえで地域にどう関わっていくべきなのか十分に理解されていることが、よくわかりました。また、農家の方との話合いで得られたであろう農と食への熱い想いが、作成されたPOPにとってもよく出ていていると感じ、大変うれしく、頼もしく思います。今後の活躍に大いに期待しています。

総合企画部	岩堀 義一
総合企画部	杉本 直子



# 生協・生活クラブの特徴と社会問題への取り組みについて

明治大学政治経済学部	4年
立教大学経済学部	3年
日本社会事業大学社会福祉学部	2年

## ①ガイダンス

### 生活クラブの概要

概況：1965年に誕生、現在の組合数は約42万人

目的：

#### ①生活に必要な材をつくる。

→組合員と力を合わせて消費財、共済制度を開発し、一般の市場や共済のあり方に影響を与える。

#### ②地域社会に必要な機能をつくる。

→まちづくり活動に取り組み、地域社会のあり方や制度、公共的な認識の変化を促す。

#### ③自己表現できる人の関係をつくる。

→生活クラブを市民主体の地域社会づくりの練習場とした組合員主権の構築。

## 目次

### ・生活クラブ生協（東京）

#### ①ガイダンス

#### ②店舗「デポー」での作業

#### 保育園ぼむ（中止）

#### ③援農NPOたがやすでの農作業体験

#### ④配送センターでの配送補助

### ・生活クラブ生協（神奈川）

#### ⑤配送センター見学及び生産者交流会

#### ⑥フードバンクかながわで見学とボランティア体験

## ①ガイダンス

### 生活クラブの取組

基幹事業：配送、デポー（店舗）

まちづくり：自治体ごとに生活クラブ運動グループ地域協議会を設置

認知活動：デポーで消費財の試食、田植え・稲刈り交流会、体験農園

エネルギーの取組：再生可能エネルギーの共同購入、電気の産地との地域間連携

地域福祉事業の取組：保育園ぼむ、障がい児支援、高齢者向け住宅の建設

コミュニティ活動：緊急時のための支援物資配達・受取訓練、エコロたすけあい制度の活用

### 私たちの食に関する講義

・輸入に食を頼っている日本 ・高いフードマイレージ ・食品添加物

・日本と世界の食糧事情 ・日本の食品ロス



## ②店舗「デポー」での作業

### デポーとは？

- ・生活クラブ組合員だけが買い物できる実地店舗
- ・地域にデポーを作るためには  
組合員**1100名以上の署名**が必要

### 普通のスーパーと何が違う？

- ・ **全て消費財**（生活クラブオリジナルがほとんど）
- ・ 買い物できるのは**生活クラブ組合員のみ**
- ・ **生産地、生産者**がしっかり明記されている
- ・ 新鮮な魚（店舗で**実際にさばいている**ところを見れる！）
- ・ **店員さんとお客さんの交流**がとても多い（組合員の店員さんが多い）



## ②店舗「デポー」での作業

### デポーでの作業

- ・ 消費財の**品出し、前出し**
- ・ 消費財の**袋詰め**
- ・ **値段シール貼り**
- ・ 店舗内の**掃除**

などなど...

### 社会的取り組みの例

- ・ 廃棄物を出さないための**値段調整**



## ③援農NPOたがやすでの農作業体験

### たがやすの概要



↑今回実習を行った農園

- ・ 生活クラブの運動グループの一つ
- ・ **農業で初のNPO法人**
- ・ 援農、地場野菜の普及、環境負荷問題等を目的に設立
- ・ 都市の中の農地の重要性を認識し、建てられた
- ・ 援農活動、市民体験農園の運営、生ごみリサイクル運動等に取り組んでいる

## ③援農NPOたがやすでの農作業体験

### たがやすが行っている社会的問題への取り組み



↑馬糞等を使用した堆肥

- ・ **廃棄に環境的、経済的負荷のかかる馬糞**をタダで受け入れる
- ・ 堆肥に馬糞や枯葉、野菜くず、給食の廃棄物を使用
- ・ **一般家庭から出る生ごみ**を活用
- ・ 生ごみはコンポストを使用して土に戻す
- ・ 減農薬で出来るだけ安全な野菜を

## ④配送センターでの配送補助

### 配送業務概要

- ・4ブロック内に11の配送センター
- ・決まった曜日に消費材をお届け
- ・配送形態・・・**班配送**、**ペア配送**、個別配送

### 実習内容（北東京生活クラブ大泉センターにて）

- ・配送コースごとに消費材を仕分けする
- ・トラックに積み込む
- ・トラックに同乗し、組合員へ配送する

## ⑤配送センター見学及び生産者交流会

### あやせ総合センターとは

- ・神奈川5つのブロックのうち、**3つを担当する**とても大きな配送センター！

### 生活クラブの配送

- ・**コロナ禍**では欠品がほとんどでなかった！
- ・どんな**悪天候**でもなるべく送り届ける

### 社会問題に対する取り組みの例

- ・あやせセンターの屋上には**太陽光パネル**
- ・使い終わった後の**消費財のビン**は**配送時に回収**し再利用

## ④配送センターでの配送補助

### 社会問題への取り組み

#### ①環境問題に対して

- ・空き瓶の回収・再利用
- ・カタログや卵パック、ビニールの回収

#### ②地域でのつながりづくり

- ・職員と組合員のつながり
- ・組合員同士のつながり（班配送やペア配送）

## ⑤配送センター見学及び生産者交流会

### 生産者交流会 **伏見蒲鉾さん**

- ・1950年創業 ・新潟県新潟市 ・企業理念「未来ある子どもたちへ」
- ・生活クラブの**消費財**は、かまぼこ、さつま揚げ、カニカマ、おでん、卵豆腐など

### 生活クラブの条件

- ・**無添加**（リン酸塩を使わない）
- ・**原材料**を明らかに

### 生活クラブだけのオリジナルかまぼこ！？

- ・**オレンジ色**（にんじんペーストを使用）のかまぼこ



## ⑥フードバンクかながわで見学とボランティア体験

### フードバンクかながわの概要

・2017年 一般社団法人フードバンクかながわ 設立

神奈川県内の非営利12団体により設立（生活クラブもその1つ！）

・設立目的 「もったいない」を「分かち合い」～「ありがとう」へ

＜食品ロスを減らし、食べ物の価値を活かす＞

＜フードバンクを通じて、**地域のたすけあい・支え合い**を実現＞

＜生活に困っている人・社会的に弱い立場にある人々の

**食のセーフティーネットワーク**をめざす＞

→**格差問題・貧困と食品問題**を社会問題として捉え、設立された！

## ⑥フードバンクかながわで見学とボランティア体験

(3)地域社会における市民の相互扶助を増進することを目的とする事業

・ **支援の輪**を広げる

→コロナ禍で困窮に・・・ひとり親世帯、学生、外国につながる人々の食支援や居場所づくり

・ **学習会や体験研修**を行うことで、考えを広める

(4)勤労意欲のある生活困窮者等の就労支援を目的とする事業

## ⑥フードバンクかながわで見学とボランティア体験

主な事業内容・社会問題に対する取り組み

(1)食品の収集・配布を通じた、生活困窮者等への支援事業

→寄贈者と支援団体をつなぐ、拠点として機能している！

・ 寄贈品の入庫・在庫管理、仕分けや出庫管理を行っている。

・ 「食の支援を必要としている方々」を支援する団体や行政などに無償提供

寄贈された食品の仕分け、お米の袋詰めボランティア体験を行いました！

(2)災害等の被災者に対する食料・生活物資等の支援事業

## まとめ

生活クラブでは、様々な場面で**社会問題への取組**を行っている！

＜大切にしていると感じたこと＞

・ 組合員や地域の人々と一緒に

・ 自分たちの生活の場から変えていく

## 生活クラブ生協・神奈川 2022 年度夏季の 3 Days インターンシップ プログラム

日程	時間	テーマ	講師・担当	内容	備考
8/25 (木)	10:00~10:30 (30)	インターンシップオリエンテーション	総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップのプログラム説明</li> <li>・参加者自己紹介</li> </ul>	集合(9:55)生活クラブオルタナティブ生活館(新横浜駅徒歩7分)
	10:30~12:00 (90)	生活クラブを学ぶ	希代常務理事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活クラブの運動と事業</li> <li>・生活クラブで働くという事</li> </ul>	講義と質疑
	12:00~13:30 (90)	生活クラブの消費材試食		<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習</li> </ul>	
	13:30~15:00 (90)	生活クラブの共同購入運動と消費材	総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活クラブの共同購入運動の概要と意義を学ぶ</li> <li>・消費材を学ぶ</li> </ul>	
8/31 (水)	9:00~12:00 (180)	職場見学と職員との懇談会	あやせセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター見学・生活クラブの仕事(動画視聴)</li> <li>・職員との懇談会</li> </ul>	集合は湘南台駅 あやせセンターで実習
	12:00~12:40 (40)	昼食休憩		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活クラブの消費材でランチ</li> </ul>	
	12:40~14:40 (120)	生産者交流会	提携生産者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活クラブの提携生産者とのオンライン交流会</li> <li>・生活クラブの生産者との対等互恵の関係性を学ぶ</li> </ul>	
	14:40~15:00 (20)	2日目の振り返り			
9/6 (火)	10:00~12:00 (120)	ソーシャルインクルーシブな地域社会づくりに向けた事業	フードバンクかながわ事務局次長 土山氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合員のたすけあいから、支え合える地域社会づくりに向けた地域での活動への広がり とフードバンク事業の理解</li> <li>・ボランティア体験</li> </ul>	終了したらオルタ館へ移動 お弁当を用意します
	13:30~15:00 (90)	インターンシップ振り返り	総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことをまとめて発表しあう</li> </ul>	

	企画内容	獲得目標	担当	日程	実習場所
ガイダンス	①生活クラブ生協への理解を深める講義	生活クラブ生協の法人理念を理解する。	生活クラブ生協・東京増田理事長	8月25日(木) 10:00~16:40	生活クラブ館世田谷区宮坂 3-13-13
	②福祉事業への理解を深める講義	福祉事業の基礎知識を理解する。	たすけあいネットワーク事業部若松課長		
	③生活クラブ 保育園ほむで働く栄養士の話	生活クラブ保育園において栄養士の果たす役割について理解する。	生活クラブ保育園ほむ国分寺林管理栄養士		
	④大人の総合学習(講義) 「私の食が世界・地球をつくる」	生活クラブの食育の取組みを理解する。	NPO法人 CSまちデザイン近藤理事長		
	⑤配送センター、デポの説明	配送センター、デポの業務の流れを理解する。	総務部人事教育課伊達		
実習① 店舗「デポ」での作業	共同購入の店舗業務を体験する	店舗を利用する組合員との接見業務について学ぶ。また、バックヤードの重要性を理解する。	李マネージャー	8月29日(月) 9:30~15:30	デポー西東京
			鈴木マネージャー	8月29日(月) 9:30~15:30	デポーすぎなみ永福
実習② 保育園「ほむ」	子育て中の家族を対象とする事業を体験する	保育園の目的、食を通じた取組みの理解する。(通園児童との交流)	管理栄養士林祐子様	9月5日(月) 9:00-15:00	生活クラブ 保育園 「ほむ・保谷」
実習③ 援農NPOたがやす での農作業体験	地場生産者の畑での農作業を体験する。	畑で農作業をすることで、食の生産現場を体験し理解する。	NPOたがやす齊藤様	9月15日(木) 9:00-12:00	体験農園 (町田市薬師池近辺)
実習④ 配送センターで配送車に同乗し配 達補助	共同購入の配送を体験する	消費材の配達現場から組合員対応を学ぶ(接見業務)。	長谷川センター長	9月21日(水) 8:40~17:00	北東京生活クラブ大泉セン ター
			長尾センター長	9月30日(金) 8:40~17:00	23区南生活クラブ大田セン ター



## 学生チームへの贈る言葉



### 生活クラブ生活協同組合グループ:チームの皆さんへ

お疲れ様でした。生協・生活クラブの特徴と社会問題への取り組みを知りたいと目的意識を持って参加され、そのことは報告集会で明確に示されていました。素晴らしいと思います。プログラムの中でも積極的に質問したり、参加者と意見交換したり、前向きな姿勢で取り組んでいました。短い期間の中でも生活クラブが大切にしていることをきちんと見つけてくれました。

生活クラブは生活に必要な材、機能、人の関係性を組合員自身が作り続けてきました。地域の中で自分たちの生活の場から、自分たちの参加で作っていくことは容易ではありませんが、課題が山積している今の日本社会の中で、遠回りのようであり、一番の確実な道だと思っています。生活クラブには「おおぜいの私」という言葉があります。「私たち」との違いは、一人一人が尊重されること、一人一人の行動が重要だということです。これからの人生で、そんな思いを心のどこかにおいて歩んでいただけたら嬉しいです。

生活クラブ生活協同組合・神奈川  
人事教育課 一政 伸子

参加された学生の皆様が、真剣に生活クラブのことを考えて頂き、自分たちなりに噛み砕いて報告をまとめて頂くという全てのプロセスを非常に興味深く見守らせて頂きました。生活クラブ生協の取り組みを学生の皆様の客観的な視点でとらえて頂きとても貴重な意見や感想を頂いたことを嬉しく思います。

SDGs という言葉が生まれるずっと前から生活クラブ生協の組合員一人ひとりが 50 年以上の歳月をかけて進めてきた活動を若い世代が理解する機会になっていけばと思います。この先 10 年、20 年先の未来のために、生活クラブの活動に共感する人が増えていけばと思いますので、今回学んだことを今後の人生にも是非活かして頂ければと思います。他のチームの活動報告もとても興味深いものでした。皆様と同じ価値観を共有できたことを誇りに感じます。私たちとしても今後の取組に活かしていきたいと思っています。短い間ではありましたが濃厚なインターンシップお疲れ様でした。

生活クラブ生活協同組合・東京  
人事課 伊達 亮太郎

## つながりインターンシップ@協同2022 (パルシステムグループ)

日本大学 食品ビジネス学科 3年  
千葉大学 教育学部 2年  
東京家政大学 管理栄養学科 1年

## インターンで何を学びたいか

インターン前の  
パルシステムの印象

何を学びたいか

- ・牛のキャラクターのトラック
- ・注文するには組合員になる必要がある
- ・週1で商品が配達される



- ・配達される商品はどのような  
よう作られているのか
- ・宅配以外の事業
- ・自慢の取り組み

## パルシステム生協グループ 活動日程

- 1日目 オリエンテーション (ガイダンス)
- 2日目 産地・施設見学
- 3日目 仕事を知る座談会
- 4日目 まとめ

生協パルシステムの  
公式キャラクター  
こんせんくん  
pal-system



## 1日目 オリエンテーション

パルシステムグループの概要

1990年2月設立

首都圏を中心に**1都12県**で活動、組合員数は**168.3万人!**

事業内容

- ・商品供給
- ・共済、保険事業
- ・福祉事業
- ・電力事業

理念

- ・物理的、心理的豊かな暮らし
- ・共生の社会 (人と自然、人と人、現在と未来の共生)を創る



## 商品試食



### 感想

- ・食材本来のシンプルな味
- ・化学調味料のような作られた味がしない？



7つの約束が関係している

## 7つの約束

- (1) 作り手の顔が見える・信頼関係
- (2) 国産の優先
- (3) 持続できる食生産
- (4) 化学調味料不使用
- (5) 遺伝子組み換えのものを使わない
- (6) 添加物を使わない
- (7) 組合員の声の反映

この7つの約束を守った商品づくり

安心安全な食品！！

## 8/4(木) 産地・施設見学

### 前半

#### ▶ 活動施設ぱるひろば見学

#### ・サポーター制度

会社 ☎ → 組合員によりそったサービスを提供できる  
サポーター ☎ → 自分の意見を反映してもらえる

#### ・オンラインだけどリアルなイベント

ex) 手打ちうどん

### 後半

#### ▶ パルグリーンファーム見学

#### ・障害者雇用

#### ・「採れたて直送便」

・より安心して利用してもらうために  
土づくり  
知ってもらう努力

## 8/16 仕事を知る座談会

### ▶ 7つの約束と産直4原則

- ・ パルシステムのこだわり
- ・ 組合員に選ばれるパルシステムの魅力

### ▶ 協同組合としてのパルシステム

- ・ 剰余金の使われ方

## 9/1 まとめ

### ▶ プレゼンテーション

### ▶ 「働く」を考える

- ・ いったいなんのために働くのか
- ・ 働くにあたり大切にすべきことは何か
- ・ 自分の将来について改めて捉える

## 生活協同組合パルシステムグループ プログラム

受入団体：パルシステム東京、パルシステム神奈川、パルシステム千葉、パルシステム埼玉  
パルシステム連合会

日付	時間	開催形式	プログラム	プログラム詳細
8/3(水)	13:00～16:00	WEB または 対面	オリエンテーション	★パルシステムグループ 概要 ★商品試食 & 学習 ★パルシステムのカタログ比較ワーク
8/4(木)	13:00～16:00	対面	産地見学、施設視察	パルグリーンファームの見学 施設視察等
8月16日	AM	オンライン	供給・営業仕事座談会	
未定			調査インタビュー	・学生から要望があった場合に、実施します。 ・内容は職員へのインタビューです。
8月末	13:00～15:00	WEB または 対面	まとめ	・学生同士で振り返りを行い、まとめを行います。

### 【オリエンテーション実施内容】

日付	時間	開催形式	プログラム内容
13:00	13:10	ガイダンス	・本日の流れ／・全体の流れ
13:10	13:30	アイスブレイク	・自己紹介
13:30	14:15	概要説明	・パルシステムとは／・商品が届くまで
14:15	14:20	小休憩	
14:20	14:40	商品学習	カスタードプリン／ポテトチップス／ロースハムスライス／キャロっとさん
14:40	15:00	パルシステムの産地とは	・パルシステムの産直とは／・パルシステムの産地とは
15:00	15:20	カタログを見てみよう	・コトコト、きなりの紹介
15:20	15:30	休憩	
15:30	15:50	意見共有	・今日の感想／・質問／・調査インタビューの実施有無
15:50	16:00	事務連絡	・今後のスケジュール



## 学生チームへの贈る言葉



### パルシステム生活協同組合グループ:チームの皆さんへ

インターンシップへの参加、お疲れ様でした。

コロナの影響もあり、オンラインが中心のインターンシップとなりましたが、施設視察と圃場見学は実際に行っていただくことができ本当に良かったです！

最後のまとめの発表は、参加して学んだことが「皆さんの言葉で」しっかりと伝えることが出来ていたと思います。

インターンシップ中にたくさん質問し、積極的に参加してくださった成果だと思っています。

これからも「質問力」や「積極的な参加姿勢」を大切にして、ご自身の成長に繋げていってくださいね。

まだまだコロナ禍が続いており、行動しにくい部分もあるかもしれませんが

貴重な学生時代、色々な挑戦や経験をしていただき、また何かのご縁で皆様にお会いできるととても嬉しいです。応援しています！！

パルシステム生活協同組合連合会	人事部人事1課	柴崎 知子
	人事部人事1課	若林 祐貴
生活協同組合パルシステム東京	人事部人事・育成課	平澤 一樹
	人事部人事・育成課	庄司 万里恵
	人事部人事・育成課	吉沼 文弥
生活協同組合パルシステム神奈川	人事部採用育成課	金子 萌菜
生活協同組合パルシステム千葉	管理本部人事教育部	藤井 貴子
	管理本部人事教育部	柏原 勇太
生活協同組合パルシステム埼玉	総務部人事課	渡部 慎太郎



# 2022年度「協同」を 学ぶインターンシップ 労協系グループ発表

目白大学社会学部3年  
目白大学社会学部3年

東京大学文科一類2年  
立教大学コミュニティ福祉学部3年

## 協同労働の課題

### 私たちの働き方



協同労働により、仕事の創造と地域社会の発展

「協同」とは「力を合わせ、助け合い、支えあって共に働くこと」。「協同労働の協同組合」は【出資】【経営】【労働】を“三位一体”で組合員全員が担い合う協同組合です。

### 一般的な働き方



目的の違い

## 協同労働とは？

- ☆「出資・経営・労働」を**組合員全員**が担う
- ・一般的な働き方は一株一票が基本だが、協同労働は**一人一票**を持っている
- ・一人の「困った」から仕事おこしができる
- ・「お金の価値」ではなく、「人の価値」に重きを置いている

## 日本労働者協同組合 (ワーカーズコープ) 連合会

### 【報告】

ワーカーズコープ・協同労働の説明

なぜ、いま社会に協同労働が必要とされているのか

私にとって学びの場とは

協同労働を中心において現場づくり

那須事業所での実践と、私が協同労働で大切にしたいこと

これからの若者に労働者として期待すること

### 【ワークショップ】

自分史づくり

「こんな社会になったらいいな」を話し合おう

あなたにとって学びの場とは？

自分はどんな人間として生き、働きたいか

## 企業組合ワーカーズ・コレクティブ 轍ケイアッシュ

配送添乗、倉庫作業の体験(多摩きた生活クラブ生活協同組合  
小平センター)

片付け事業体験(わだちえっさほいさ)

「企業組合ワーカーズ・コレクティブ 轍ケイアッシュ」  
についての紹介、質疑応答

## 協同労働のメリット

- ・自らが望む働き方を選択できる
- ・競争社会からの離脱
- ・仕事おこしによる地域社会の活性化
- ・様々な需要にこたえることができる

働くこと、暮らすこと、生きること の融合

## 労働者協同組合法

- ・2020年12月4日成立→2022年10月1日施行
- ・労働者協同組合の設立、運営、管理などについて定める
- ・目的(第1条)

多様な就労機会の創出  
地域における多様な需要に応じた事業



持続可能な活力ある地域社会の実現



参照:厚生労働省 知りたい!労働者協同組合法  
労働者協同組合法とは  
<https://www.roukyouhou.mhlw.go.jp/about>  
2022年10月10日閲覧

# 協同労働は魅力的!



# しかし課題も山積み

## 協同労働の課題

- ・多様な人が働くため、衝突が多い
- ・現場職員への協同労働についての教育不足
- ・意見が出づらい環境
- ・労働環境、金銭問題
- ・若い世代への周知

## 課題を解決するためには？

### A, 現場への協同労働の教育が急務！！

組合員の衝突や意見が出ない環境の改善が見込める

Q, 教育を行う時間、環境がない

→大きな事業所で新入組合員への教育プログラムの実施



## 課題を解決するためには？

- ・労働環境、金銭問題  
→労働者協同組合法によって、労働者として国に保護されるようになる
- ・若い世代への周知
  - ・協同労働的な学校（南アルプス子どもの村小学校・中学校）
  - ・若者向けの事業（就労支援など）
  - ・文化的な協同労働（映画製作など）

終わりに

---



日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会  
2022年度夏の協同労働インターンシップ(5DAYS)

【日程】

日程	内容
8/23(火) 10:00~16:00	AM) 自己紹介、報告「ワーカーズコープ(協同労働)の説明」 PM) ワークショップ①「自分史づくり」
8/24(水) 10:00~16:00	AM) 報告「なぜ、いま社会に協同労働が必要とされているのか」 PM) ワークショップ②「『こんな社会になったらいいな』を話し合おう」
8/29(月) 10:00~16:00	AM) 報告「私にとって学びの場とは」 PM) ワークショップ③「あなたにとって学びとは」
9/5(月) 10:00~16:00	AM) 報告「協同労働を中心に置いた現場づくり」 PM) 報告「那須事業所での実践と私が協同労働で大切にしたいこと」
9/8(木) 10:00~16:00	AM) 報告「これからの若者に労働者として期待すること」 PM) ワークショップ④「自分はどんな人間として生き、働きたいか」、5日間のまとめ

【開催趣旨】

皆さんは、「生きる」こと・「働く」ことにどのようなイメージを持っていますか？

「生きる」の大部分を占める「働く」時間。多くの人が自身の成長を実感でき、自分らしく働きたいと思っているのではないのでしょうか。

そのような人々の想いの裏で、働く人の意見がないがしろにされ、上から下に命令を下されるような労働の在り方が「当たり前」になっています。

私たちワーカーズコープは、「協同労働」という働き方を通じて地域で必要な事と働く場をおこし、話し合いを大切にした関係性づくりや持続可能な地域づくりをしています。

また、仕事や多様な関係性の中で、自分、ともに働く仲間、地域や市民の変化・成長に価値を置き、人間らしく誰もがいきいきできる職場づくり・地域づくりを目指しています。

2022年10月に、ワーカーズコープの法律が施行されます。

働きながら社会について考え学び合うことができる私たちの働き方＝「協同労働」を是非知ってもらいたいと思っています。

【開催方法】

オンライン(ZOOM)と対面の併用

※本プログラムは、2022年4月入団の新入団者研修ならびに、2023年4月内々定者フォローPG、つながりインターンシップ@協同、大学生のインターンシップ受入、過去のインターンシップ参加者等の合同企画で実施します。



● インターン受け入れスケジュールなど

学生の問題意識	日程①	内容	日程②	
貧困問題（ネットカフェ利用者／住居喪失不安定就労）	8/25 （木）	配送添乗と倉庫作業など（小平センター）	8/26 （金）	片付け事業手伝い
ニート、SNEP の増加（社会的負荷の増大／つながりの欠如）	8/25 （木）	配送添乗と倉庫作業など（小平センター）	8/31 （水）	配送添乗と倉庫作業など（小平センター）
若者の生き難さ（多様な生き方を認める社会へ）	8/25 （木）	配送添乗と倉庫作業など（小平センター）	8/31 （水）	配送添乗と倉庫作業など（小平センター）
人間らしい働き方（民主主義と主体的参加／協同組合の課題）	8/25 （木）	配送添乗と倉庫作業など（小平センター）	8/31 （水）	配送添乗と倉庫作業など（小平センター）

・持ち物：飲み物・タオル・帽子（日差しが強いため）・着替え（汗をかきます）

・服装：制服のポロシャツをお貸しします。チノパン、スニーカーなど動きやすく涼しい恰好をしてください。

※ 業務中は新型コロナウイルス感染予防のためマスクを着用していただきます。汗でぬれますので替えのマスクもお持ちください。

・時間：配達添乗の方は小平センター2階事務所に午前8：30までにいらしてください。

片付け事業手伝いの方は下記わだちえっさほいさ事務所に8：30までにいらしてください。

どちらも17：00を目途に終了を予定します。

・作業内容：

配送添乗⇒ 生協の配達に添乗し、荷台でのピッキングや片付けや、組合員への対応、帰着後の倉庫作業、注文書の確認などを行っていただきます。

片付け事業手伝い⇒ 一般のお宅の片付けに同行し、荷物の分別や運搬を行っていただきます。

・昼食：昼食代を補助いたしますが、コンビニなどで購入することになるため、コンビニ食などが合わない方はご持参ください。

・住所：多摩きた生活クラブ生活協同組合小平センター 東京都小平市花小金井8-13-4

わだちえっさほいさ事務所 東京都小平市小川町1-411-3 ヴィラ・リビエール1階

# 学生チームへの贈る言葉



## 労働者協同組合グループ:チームの皆さんへ

### ワーカーズ・コレクティブ

つながりインターンシップお疲れさまでした。

中途採用がほとんどの弊組合では、学生の皆さんが来て真摯に仕事に向き合う姿がとても新鮮でした。働くことは単純作業の連続や、クレーム処理、人間関係など嫌なこともたくさんあります。実際に添乗して作業する中でも目にすることがあったかもしれません。そんな中でも仕事していれば自分の成長を感じることや組合員から感謝の言葉をいただくことがあります。働くモチベーションは一人ひとり違いますが、それぞれが人から必要とされ、配達を待っている組合員がいることを理解し働いています。皆さんが今後働くときはその仕事は誰のどんな役に立っているか考えてみてください。そうすることで仕事のやりがいや目的を見つけられると思います

今回のインターンが皆さんが社会に出て働く上で、私たちの組織にきて一緒に働いたことが良い経験になったと感じていただけていたら幸いです。皆さんの今後の活躍を心よりお祈り申し上げます。

企業組合ワーカーズ・コレクティブ轍ケイアッシュ 田上 悠紀人

猛暑の2日間「ワーカーズ・コレクティブ轍ケイアッシュ」での実地体験お疲れさまでした。

複数のワーカーズメンバーとの体験で、少しずつ違う仕事観など感じていただけたかと思います。

受入れ団体では、社会人になる前の学生の皆さんと働く機会を頂けたことに感謝し、協同労働の実践者としても、多くの気づきをいただいたようです。

報告会でいきなりの「協同労働の課題」というタイトルにはこれまでにない衝撃を受けましたが、座学や見学、体験から、掘り下げ客観的に「協同労働」を分析していただいたことに感謝するとともに大学も学年も違う皆さんが協同で作成した報告資料にも感動しました。

同じ体験や学びをともにに行い、協同で作業をすることを通し「協同組合」や「協同労働」のほんの一部でも感じ取っていただけたならうれしいです。

この経験が、今後「働く」を考える場面で何かしらのエッセンス的な役割が果たせますように。

ワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパン 藤井 恵里

### 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会

5日間のインターンシップ参加、ありがとうございました。私たちが学び合いの場をつくる上で大切にしているのはアウトプットをすることですが、そのような自分の言葉で表現し学び合う場に戸惑った方、疲れた方もいたのではと思います。その中で、皆さんがこれまで歩んだ軌跡とインターンシップの中で感じたことをありのままに表現してくれたことが率直に嬉しかったです。

今回のインターンシップでは、本質的なテーマを学び合うことに重きを置きました。

その中で、皆さんがどのようなことを感じたのか？

を是非これからの「生きること・働くこと」を考える場面に生かしてもらえたらと思っています。また、今回のご縁を大切にしたいと思っていますので、今後もよろしければ、私たちのインターンシップや研修などにご参加いただいて、より多様な「協同労働」の働き方と、自分自身の生きる・働くとは何か？を一緒に学び合えたら嬉しいです。また、お会いしましょう！

未来人財部 浦上 航  
大菊 友梨子

# 協同金融系グループ

---

東海大学健康学部 3年  
産業能率大学経営学部 2年  
駒澤大学経済学部 3年



# 城南信用金庫

---

## 当日の流れ→企業説明と座談会

---

### 概要

- 銀行と信用金庫の違い
- 「お客様本位」に基づいた取り組み
- 事業継承支援部の仕事

## 銀行と信用金庫の違い

---

- それぞれ基づく法律が異なる。  
→銀行法と信用金庫法により区別される。出店地域や、融資対象が制限される。(例外あり)
- 還元先も違う  
→銀行は株主に、信用金庫は地域に還元し発展させていく。



## 「お客様本位」に基づいた取り組み

- ・リスクのある商品は売らない
- ・お客様応援企業として、「信金じもと飯」や「よい仕事ネットワーク」などのイベントを行う



地域のお客様と「信頼の絆」を築く

## 事業継承支援部の仕事

### 田中英貴さんの経歴紹介

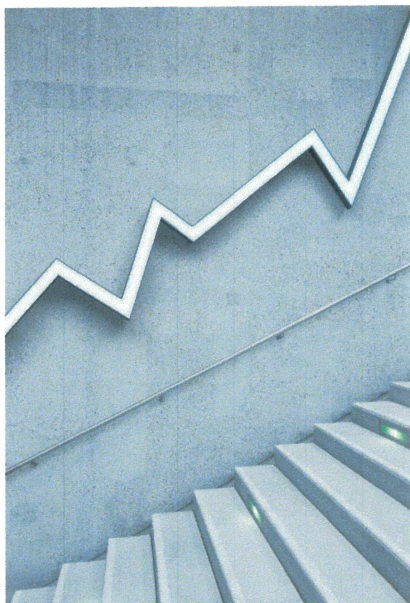
・2011年入庫し、様々な支店を経由して現在は事業継承支援部に所属している田中さん。

・12年間で、中小企業大学校や日本M&Aセンター、青山財産ネットワークスなどに出向し、いくつもの資格を取得して仕事に生かしている。

### 仕事内容

・2018年6月に事業継承支援に特化した「事業継承支援室」を設置。

・相談業務、営業店への啓蒙活動やM&Aアドバイザー業務を行う



## 全国労働金庫協会

## 当日の流れ→質疑応答で進行

### 概要

- ・協働組織であり、一会員一票制、非営利組織
- ・福祉金融であり、働く人を中心に融資、生活と福祉向上のニーズに応える

## 主な質疑応答

- ・概要の福祉向上とは？→情報機能で「つなぐ」協働のネットワークで人と人、人と地域をつなぐ役割



具体的には、労働組合に入ってる人の資産相談等

## 質疑応答 福利厚生について

- ・女性の働きやすさ、育休制度について

Q. 女性の育休制度利用後、社会復帰することは容易ではないと感じているのですが、それらについて、教えてください

A. 育休制度利用後、育休前の部署に戻る、勤務時間の短縮、時間外労働の免除、深夜業務の免除、PTA等の融通が働きやすくなっており、女性が子育てを行いながらも働きやすい環境になっている。

## 逆質問 労金に対しての若い人の意見を聞きたい

インターンシップ後の労金の印象

・労金はATM使用后、手数料が即座にキャッシュバックされ、実質無料でATMを使える等、知らなかったが、労金を利用してみたいと思う要素が多くあった。

・大学での寄付講座を行っている等、地域、学生貢献にも力を入れていることを知り、応援したくなる、愛される要素があることを知った。



今後の労金に必要であると考えること  
知名度のUP

理由

・ATMの利用料無料等、金融機関を使う側から見たら魅力的な面があるのにも関わらず、それらの情報が届いていない。

・他の金融機関に比べ、町で名前を見ることが少なく、使用、進路の選択肢の中に入れていないのではないかと感じたため。

## インターンを通して

非営利組織について学ぶ機会が授業で多いのですが、金融系について学ぶ機会は初めてであり、大変興味深い内容でした。

非営利組織の金融系ってどういうことだろう、など様々な疑問を持っていましたが、質疑応答でその疑問をすべて解決でき、とても学びが多い時間でした。

このインターンが始まる前は協同組合の金融系について知識がほとんどありませんでしたが、お話をお伺いして、何をしているのか、どのような「つながり」があるのかを学ぶことができて貴重な経験となりました。

ご清聴ありがとうございました

---





協同金融グループのインターンシップ実習報告から

月日	時間	活動内容	内容・感想・発見・他
8/17	10:00 ～ 12:00	城南信用金庫	城南信金の歴史、働き方、仕事内容、事業継承の仕事について学んだ。女性でも働きやすい環境で自分に合っていると感じた。
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・むやみやたらに融資はしない</li> <li>・お客様本位の取り組みを数多く行っている</li> <li>・事業継承支援部は今後さらに重要に</li> </ul>
8/23	9:00 ～ 11:00	労働金庫協会	労働金庫の仕事、協会とのつながり、働き方、について学んだ。全くわからないところからのスタートだったので、楽しかった。
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも労金とはなにか</li> <li>・労働組合会員の金融機関</li> <li>・知名度が課題</li> </ul>
			労働金庫協会は、他の金融機関と言われる地方銀行、信用金庫等とどのような違いがあるのか、また、働き方について具体的に学ぶことができた。

城南信用金庫



## つながりインターンシップ ～城南信用金庫～

当日プログラム8月17日（水）AM10：00～12：00

10：00～城南信用金庫、信用金庫とは（信用金庫と銀行の違い、社会貢献活動、城南信用金庫の取り組みの説明）

11：00～座談会（人事部職員、事業承継支援部職員）

12：00～プログラム終了



# 学生チームへの贈る言葉



## 協同金融グループ:チームの皆さんへ

### 一般社団法人全国労働金庫協会(ろうきん)

まずは、金融系を選択していただきありがとうございます。ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。今回のインターンシップを通じて、みなさんが協同組織や福祉金融機関について、熱心に学び、理解していただいたことを修了報告会の発表を聞いて、心から感じました。私自身も人と人とのつながりの大切さ、応援したくなる、愛される要素や誰のための金融機関であるかについて、みなさんから改めて教わる機会となりました。

今後、みなさんが、本格的な就職活動を行っていく中で、今回のインターンシップの経験を忘れずに、視野を広げて、感性を磨き、自分自身の就職活動の立ち位置を見つけることができるように、ご活躍をお祈りいたします。

人事総務部 井吉 仙征  
人事総務部 小林 ちとせ  
調査役 山口 祐美

### 城南信用金庫

皆さま終了報告会お疲れ様でした。素晴らしい発表に私自身とても感動しました。

8月にご参加いただいたインターンシップでは、沢山の疑問をぶつけていただきこちらとても勉強になりました。非常に、感謝しております。協働金融を学ぶうえで1番大事なのは「相互扶助の精神」です。これから協同金融を学ぶ中で「相互扶助」とは何か。そんな疑問を持ちながら考えていくと良いかと思えます。皆様におかれましては、これから就職活動も本格化します。何かわからないことがあれば、折角つながった縁ですので遠慮なく、なんでも聞いてくださいね！

最後にもう一度、城南信用金庫について触れさせていただきます。城南信用金庫は思いやりや助け合いの精神をどの金融機関よりも大切にしている信用金庫です。「お金がすべて」という時流を変え、地域の皆様のために頑張っていく所存でございますので、是非今後の活動に注目してみてください。本当に今回はご参加いただきましてありがとうございます。今後ともよろしくお祈りいたします。

人事部 脇谷 悠太





## 交流会と修了報告会を企画・運営して

今年度は、本インターンシップの企画側学生として交流会・修了報告会の運営に携わりました。新型コロナウイルス感染症は、今日まで収束の見込みが立たない状況にあり、例えば交流会のオンライン化やヒアリング調査のオンライン化などインターンシップの活動への制約を生じさせるものでありました。このような状況にあっても、参加学生は、インターンシップを通じて受入企業の事業内容等を学び、修了報告会では、学びの成果を発表しておりました。

このインターンシップを通じて、「協同」や「働くとは」等を考え、各人の栄えある人生に寄与できれば幸いに思います。



2020年度インターンシップ修了生

つながりインターンシップに携わり続けて3年目となり、つながりは私たちに何をもたらしているのかを改めて考えました。なんだか元気が出ない時に励まし合える人とのつながり、悩み事がある時に力を貸してくれる人とのつながり。協同組合のつながりは一体感や暖かさを生み、私たちの心と身体の健康に欠かせないものであるということに気がつきました。

交流会と報告会を企画し運営するまでには多くのことを考え悩みましたが、全て良いものとなったことはひとえに学生の皆さんや社会人の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。ぜひこれからも皆様とのつながりを大切にしていきたいです。



2020年度インターンシップ修了生

様々なグループのインターンシップの報告によって、昨年に引き続き多くの事柄を学ぶことができました。例えば、団体の細かな活動内容やパワーポイントを使った効果的な発表の方法など、あらゆる方面で視野を広げるきっかけになりました。今後の学生生活でも大きな糧になると思っています。また、今年は先輩方と企画・運営をする中で、発表する学生を支えるという立場も体験できて、大変貴重な経験になりました。昨年より少しでもより良い修了報告会になっていたら良いなと思います。

つながりインターンシップの名の通り、今後もなんらかの形でこのご縁を大切にしていきたいと思えます。



2021年度インターンシップ修了生

今回つながりインターンに参加者かつ企画者として参加させていただけたことで、とても有意義なインターンシップにすることができました。

先輩方に助けをいただきながら、交流会や報告会に向けて様々な提案をさせていただきましたが、実際に自分が参加者としてどのようなことがしたいのか、どのような企画であったらより学びが深くなるかを真剣に考えることができたので、自分自身がしっかりと明確な目的をもってインターンシップに参加することができたと思います。

参加者としても企画者としてもこのインターンシップに携わることが出来てよかったです。



2022年度インターンシップ修了生

\*三年前より全体四企画の中で、インターン生の交流会と修了報告会を学生有志で企画運営しています。

## 第9期「協同を学ぶ」インターンシップ修了報告会 集合写真



2022年10月22日(土) 14:00~17:00@日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会本部会議室にて

\*修了報告会を3年ぶりに対面で開催できました。当日体調を崩した学生がおり、出席は14名。少し寂しかったのですが、インターン生と自分の体験先以外の団体の皆さんとの会話も大いに弾みました。

### 【事務局報告】

第9期「協同を学ぶ」インターンシップ、通称「つながりインターンシップ@協同」は新型コロナウイルス感染症3年目となる今年度も無事終了しました。学生は25名公募に対して20名の応募でした。1名が留学で辞退し学生19名、受入団体は17団体が参加しました。

新型コロナウイルス感染症の影響は3年目もありましたが、受入団体によっては体験実習プログラムを組み込むようになりました。全体企画は恒例の、①全体の顔合わせになる「キックオフ」、②体験実習に入る前の「事前レクチャー」、③インターカレッジの学生同士の交流と体験実習を全体で共有する「交流会」、④インターンシップの成果報告を行う「修了報告会」の4企画を行いました。コロナ禍で3企画はWEB開催となりましたが、修了報告会は学生と受入団体が何とか対面で実施できました。また、新旧インターン生有志が参加して③「交流会」と④「修了報告会」を企画運営するスタイルも3年目となり定着してくると同時に学生自身が手掛ける領域も広がってきています。

一方で、第6期まで順調に参加学生が増えてきましたが、コロナ禍によって参加学生からの口コミが途切れた影響は大きく、今年度もキックオフに向けた準備に入るギリギリのタイミングまで2次募集を行いました。また、新型コロナウイルス感染症によってライフスタイルの変化があり、その影響も色濃く出た年度になりました。人と人とのつながりを実体験として学べるのが「協同性」を育む重要な要素になります。コロナ禍でWEB中心のプログラムにならざるを得ない中、事務局が学生と直接に接することができたのは修了報告会のみでした。そのためもあって、学生との距離の縮め方や個性の把握がしにくいこと、必要に応じて電話連絡もしますがSNS中心のやりとりは便利な反面、一方通行になりやすいこと等課題も浮き彫りになりました。

「協同を学ぶ」には体温を感じられる距離でのやりとりや対面がもたらす効果が大きいことを改めて痛感しました。体験実習プログラムの充実もまためざしていきたいところです。

次年度は第10期です。白紙から始まったインターンシップでしたが、全体を振り返り今後のグランドデザインを引き直す時期にきたようです。今年度は第9期までの学生に焦点をあて、その成長や教育的効果・成果の分析を進めました。そのまとめを公表できればと現在準備しています。



第9期「協同を学ぶ」インターンシップ実施報告書

「つながりインターンシップ@協同」2022年度

2022年12月31日発行

編集・発行 一般社団法人くらしサポート・ウィズ

〒169-0072 東京都新宿区大久保 3-2-4 出光新宿ビル 4階

TEL 03-6205-6719

<http://www.kurashidial.or.jp/>

\*許可なく本冊子からのコピー・転載はご遠慮ください。